

【第 27 期】

令和 7 年度事業報告及び決算書

株式会社 まんでがん

（ 自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日 ）

令和7年度 株式会社まんでがん事業報告

1. 概 要

卸事業については、度重なる物価高騰や原油価格の上昇の影響を受け、仕入・物流コストの増加により厳しい環境となりましたが、前年度に引き続き「讃岐もち麦ダイシモチ」を中心に売上が大きく伸長しました。その要因としては、企業向け商品の出荷増加に加え、為替の影響による外国産大麦の価格高騰を背景に、国内産への需要が高まったことが挙げられます。

その結果、卸事業の売上高は約1億2千万円（対前年比112%、約1,300万円増）となり、堅調に推移しました。

また、「讃岐もち麦ダイシモチ」の年間販売数量は約138トン（対前年比114%、約16トン増）と大幅に増加し、経常利益は約500万円となりました。

売店事業においては、前年度の改装を契機に、市内生産者を新たに4名増やすとともに、卵の特売など、定期来店客のニーズに対応した施策を実施しました。

老朽化に伴う修繕については、トイレの蛇口や便座の修繕を行い、より快適に利用いただける環境整備に注力しました。

また、おしゃべり広場感謝祭では、人気のシールを景品としたじゃんけん大会や駄菓子販売、ニュースポーツ体験などを行い、過去最多となる748人の来場者数を記録しました。

2. おしゃべり広場の活用

（1）おしゃべり広場事業

① 来場者数

（単位：人）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
18,661	16,779	18,546	13,688	12,948

（前年度比較：▲740人）

来場者数は、生産者の高齢化による産直野菜の品揃えの減少などが影響し、12,948人（対前年比95%、740人減）となりました。

来場者数の減少を受けて、卵の特売を毎日行い、日常的に来場いただける定期客の獲得に注力しました。また、商品アイテムの見直しを行い、回遊しやすい売り場作りを行いました。

また、例年行っている「まんでがん感謝祭」では、人気のシールが当たるじゃんけん大会や駄菓子屋を呼ぶなど初めての企画を行い、748人を超える集客となりました。

② 観光案内事業

(ア) 観光情報発信強化業務

市からの委託を受け、県内外の観光客を対象に観光案内及びレンタサイクル業務を実施し、情報発信の強化に取り組みました。来場者の減少はありましたが、レンタサイクルの年間利用者数は 960 人（対前年比 103%、36 人増）と市内観光のよる需要増加になりました。

荷物預かりサービスについては 116 件の利用があり、サービスの認知度向上につながりました。

(イ) 移動式観光案内所&キッチンカー（以下、むぎゅっとカーと言う。）事業

市の委託事業として、県内外で 51 件の出動を行い、「讃岐もち麦ダイシモチ」や市内観光スポットの魅力を発信しました。

香川県と岡山県の連携事業「つながる食の大博覧会」にも継続的に参加し、各地のイベントにおいて試食提供やパンフレット配布を行いました。

③ 地方創生創出事業

市が主体となって実施した「都市と地域を結ぶ想いの架け橋事業」において、津田塾大学ほか 3 大学の学生と連携し、「びわの葉茶」プロジェクトに取り組みました。市内生産者の圃場を訪問し、収穫体験を実施するとともに、販売に向けたデザイン制作にも取り組みました。

また、11 月 14 日 15 日には丸善お茶の水店前にてマルシェを開催し、学生主体による販売を行いました。

地域おこし協力隊の活動としては、「むぎゅっとカー」を活用し、讃岐もち麦ダイシモチやキウイなど地域資源を生かしたメニュー開発を行うとともに、「善通寺プールマルシェ」等のイベント運営を通じて、善通寺市の認知度向上と魅力発信に努めました。

また、第 14 旅団創隊 19 周年及び善通寺駐屯地開設 75 周年記念行事にあわせて開催された「くすのきマルシェ」では、多くのお客様にご来場いただき、新メニューである「ダイシモチコッペサンド」も完売するなど、盛況のうちに終了しました。

(2) 讃岐もち麦ダイシモチ事業

前年度に引き続き、関東・関西地区での食品展示会に出展し、新規販路の開拓に取り組んだ結果、新たに 5 社との取引を開始しました。

為替の影響で外国産大麦の価格が高騰し、国産雑穀の需要増加に伴い、既存取引先の出荷量も伸長しました。出荷量は約 138 トンとなり、丸麦の売上金額は約 5,600 万円となりました。

今年度から出荷開始した大手調剤薬局の売上も堅調に推移し、薬局内で販売コンテストが実施され、より多くのお客様に PR することができました。

JR 高松駅直結の商業施設「TAKAMATSU ORNE（高松オルネ）」及び「かがわ物産館 栗林庵」での試食販売を実施し、観光客を中心とした地域製品の PR 活動となりました。

（３）酒類製造販売事業

本年度も「讃岐もち麦ダイシモチ」を主原料とした本格麦焼酎「空海 わが心空の如く わが心海の如く」の販売促進を行いました。県内酒販店や県外アンテナショップでの取り扱い拡大に努め、「むぎゅっとカー」での販売活動も実施しました。

また、もち麦を使用した米焼酎「MAO」や専売商品「師団一」（綾菊酒造）の販売にも注力しました。

（４）観月の宴事業

第 24 回「観月の宴」を、讃岐宮香川県護国神社において、中秋の名月に合わせ、10 月 6 日と 7 日の 2 日間開催しました。

来場者は、升席にて秋の風情を楽しみながら、例年の善通寺龍神太鼓に加え、新たにジャズバンドの演奏を取り入れることで、これまでとは異なる雰囲気の催しとなりました。

また、お月見鍋をはじめ、「むぎゅっとカー」による飲食物の提供も好評で、多くの来場者から高い評価をいただきました。

（５）市内学校とのまちづくり支援事業

善通寺市立西部小学校と株式会社フジ（マルナカパワーシティ善通寺）と連携し、讃岐もち麦ダイシモチの授業を通じて感じたことを夏休みの宿題として絵を描いてもらい、商品パッケージにし、生徒と一緒に販売しました。生徒は店内で声掛けを行い、メディアも集まり大きな賑わいとなりました。

尽誠学園高等学校の生徒と連携し、「讃岐もち麦ダイシモチ」を使用したひとくちドーナツの共同開発を行いました。開発した商品は、「善通寺フラワー&ドリームフェスタ」において生徒主体による販売実習を実施するとともに、豊浜 SA 上り線（千登世商事）のスナックコーナーにて商品として販売しました。販売初日には、生徒による試食販売も行われ、会場は賑わいを見せました。

香川県立善通寺第一高等学校では、前年度に改装した「おしゃべり広場」売店の黒板ドアに、デザイン科の生徒の考案により弘法大師空海のイラストを制作しました。本企画は、3～4 か月ごとにデザインを変更し、施設への集客増加を図るものです。

また、香川県立善通寺支援学校においては、職場実務体験の一環として、「讃岐もち麦ダイシモチ」の梱包作業を依頼しました。

(6) インターネット通販事業

通販事業の主軸である楽天市場の商品ページおよび検索キーワードの見直しを実施しました。その結果、自社通販サイト、楽天市場、Yahoo!ショッピングにおける販売額は約 1,300 万円（対前年度比 113%）となりました。

主力商品である「讃岐もち麦ダイシモチ」の定期購入が増加したことに加え、「骨付鳥」や「かしわバター」など香川県の名物商品についても、SNS の影響により販売が伸長しました。

(7) その他収益事業

① ふるさと納税事業

ふるさと納税の検索サイト「ふるさとチョイス」及び「さとふる」の雑穀米部門において、「讃岐もち麦ダイシモチ」は常に上位にランクインし、安定した人気を維持しました。販売数量は 43 トン（対前年比約 113%、約 5 トン増）となりました。

決 算 報 告 書

(第 27 期)

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

株式会社 まんでがん

香川県善通寺市上吉田町2丁目1番9号

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 57,464,354】	【流 動 負 債】	【 11,771,451】
現 金 及 び 預 金	42,201,656	買 掛 金	3,751,534
売 掛 金	8,962,214	未 払 金	4,933,613
商 品	2,648,329	預 り 金	74,486
貯 蔵 品	2,738,751	未 払 法 人 税 等	215,700
未 収 入 金	909,007	未 払 消 費 税	1,366,300
そ の 他 流 動 資 産	102,397	1年内支払予定リース債務	1,327,920
貸 倒 引 当 金	△98,000	そ の 他 流 動 負 債	101,898
【固 定 資 産】	【 7,699,099】	【固 定 負 債】	【 2,082,520】
(有 形 固 定 資 産)	(7,469,432)	長 期 リ ー ス 債 務	2,082,520
建 物 付 属 設 備	599,517		
構 築 物	392,216	負 債 の 部 合 計	13,853,971
機 械 装 置	2,306,750	純 資 産 の 部	
器 具 備 品	1,090,549		
リ ー ス 資 産	3,080,400	【株 主 資 本】	【 51,309,482】
(無 形 固 定 資 産)	(229,667)	(資 本 金)	(10,000,000)
ソ フ ト ウ ェ ア	229,667	(利 益 剰 余 金)	(41,309,482)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	41,309,482
		繰 越 利 益 剰 余 金	41,309,482
		純 資 産 の 部 合 計	51,309,482
資 産 の 部 合 計	65,163,453	負債及び純資産の部合計	65,163,453

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

損 益 計 算 書

科 目	金 額	
		円
【純 売 上 高】		
事 業 収 入	92,774,472	
広 場 収 入	20,994,338	
委 託 手 数 料 収 入	9,837,477	
売 上 値 引 戻 り 高	△16,303	123,589,984
【売 上 原 価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	4,516,827	
商 品 仕 入 高	52,666,705	
合 計	(57,183,532)	
期 末 商 品 棚 卸 高	△2,648,329	54,535,203
売 上 総 利 益		(69,054,781)
【販売費及び一般管理費】		63,978,397
営 業 利 益		(5,076,384)
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	91,366	
雑 収 入	2,133	93,499
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	2,182	2,182
経 常 利 益		(5,167,701)
【特 別 利 益】		
補 助 金 収 入	1,600,000	1,600,000
【特 別 損 失】		
事 業 支 援 費	340,000	340,000
税 引 前 当 期 純 利 益		(6,427,701)
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		△1,402,300
当 期 純 利 益		(5,025,401)

販売費及び一般管理費

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

科 目	金 額	
		円
広 告 宣 伝 費	187,184	
荷 造 運 賃	10,866,273	
販 売 促 進 費	2,062,761	
事 業 支 援 費	5,019,850	
役 員 報 酬	220,000	
給 料 手 当	20,097,057	
委 託 料	830,221	
法 定 福 利 費	2,093,152	
福 利 厚 生 費	112,500	
減 価 償 却 費	3,986,350	
修 繕 費	318,115	
消 耗 品 費	5,610,311	
水 道 光 熱 費	1,283,546	
旅 費 交 通 費	1,409,673	
支 払 手 数 料	5,240,427	
租 税 公 課	682,313	
保 険 料	2,894,170	
通 信 費	282,671	
諸 会 費	23,500	
車 輜 費	118,897	
顧 問 料	415,000	
支 払 地 代	210,396	
貸 倒 引 当 金 繰 入	14,000	
雑 費	30	
販売費及び一般管理費		(63,978,397)

株主資本等変動計算書

	自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日 単位: 円				
	株主資本				
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	純資産合計
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	10,000,000	36,284,081	36,284,081	46,284,081	46,284,081
当期変動額					
当期純損益金		5,025,401	5,025,401	5,025,401	5,025,401
当期変動額合計		5,025,401	5,025,401	5,025,401	5,025,401
当期末残高	10,000,000	41,309,482	41,309,482	51,309,482	51,309,482

個 別 注 記 表

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - 棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産
 - 法人税法の規定による定率法（ただし、平成28年4月1日以後に取得した構築物については定額法を採用しています。）
 - 無形固定資産
 - 法人税法の規定による定額法
- (3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
 - 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 9,012,168円

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行株式の数 200株

IV. リースにより使用する固定資産に関する注記

リース契約については、通常の売買契約に係る方法に準じてリース期間定額法で処理しています。

上記の通りご報告申し上げます。

令和 8 年 4 月 29 日

株式会社 まんでがん

代 表 取 締 役

角野 幸治

財 産 目 録

2026年3月31日現在

株式会社まんでがん

(単位：円)

資産の部			
1.現金			652,633
2.預金	普通預金	(百十四銀行・給与、固定費用)	289,578
	普通預金	(百十四銀行・取引先、常用)	17,813,886
	普通預金	(百十四銀行・地域おこし協力隊)	-
	普通預金	(香川銀行)	-
	普通預金	(香川銀行・取引先用)	6,198,439
	普通預金	(高松信用金庫)	185,423
	郵便貯金		91,361
	定期預金	(百十四銀行)	1,500,000
		(高松信用金庫)	15,020,336
	定期積金	(高松信用金庫)	450,000
3.売掛金	売掛金		8,962,214
4.棚卸資産	商品		2,648,329
	貯蔵品		2,738,751
5.未収金	売上金クレジット決済		7,194
	売上金QR決済		89,927
	ネット通販		757,484
	ヤマト運輸決済		47,902
	他店商品券		6,500
6.その他流動資産			102,397
7.貸倒引当金			△ 98,000
8.建物付属設備			599,517
9.構築物			392,216
10.機械装置			2,306,750
11.工具、器具及び備品			1,090,549
12.リース資産			3,080,400
13.無形固定資産			229,667
14.投資その他の資産			-
	資産合計		65,163,453
負債の部			
1.買掛金			3,751,534
2.未払金	3 月分給与手当		1,696,810
	3 月分産直売上		217,922
	3 月分その他経費		3,018,881
3.未払法人税等			215,700
4.未払消費税			1,366,300
5.預り金			74,486
6.1 年内支払リース債務			1,327,920
7.その他流動負債			101,898
8.長期リース債務			2,082,520
9.長期借入金			-
	負債合計		13,853,971
差引正味財産			51,309,482

利 益 処 分

自2025年4月1日 至2026年3月31日

株式会社まんでがん

(単位：円)

1.当期末処分利益		51,309,482
	1) 前期繰越金	46,284,081
	2) 当期利益	5,025,401
2.次期繰越利益剰余金		51,309,482

監 査 報 告

令和7年度 株式会社まんでがん の決算について、証憑書類、帳簿等を監査の結果、適正かつ正確であることを認めます。

令和8年 5月 22 日

監査役

津島 智子



監査役

小野 貴史

